

第 11 回 六ヶ所村新庁舎建設検討委員会 議事録

日時	令和 5 年 10 月 2 日 (月) 13:30～14:30	
場所	スワニー 大会議室	
出席者	<p>鳥山義隆委員 (六ヶ所村議会議長)</p> <p>附田角栄委員 (六ヶ所村議会総務教育常任委員会委員長) ※欠席</p> <p>高橋信委員 (東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻技術社会システム専攻 教授) 【委員長】</p> <p>小藤一樹委員 (学校法人八戸工業大学工学部土木建築工学科感性デザイン学部創生デザイン学科 教授) 【副委員長】</p> <p>小泉國雄委員 (六ヶ所村行政連絡員協議会 会長) ※欠席</p> <p>三戸秀子委員 (六ヶ所村地域連合婦人会 会長)</p> <p>種市治雄委員 (六ヶ所村商工会 会長)</p> <p>及川次夫委員 (一般社団法人六ヶ所村観光協会 会長)</p> <p>橋本喜代二委員 (社会福祉法人 六ヶ所村社会福祉協議会 会長)</p> <p>高田孝徳委員 (六ヶ所村三漁協協議会 会長)</p> <p>石久保齊委員 (六ヶ所村農業委員会 会長)</p> <p>久保勝廣委員 (特定非営利活動法人六ヶ所村スポーツ協会 会長)</p> <p>久保政廣委員 (六ヶ所村消防団 団長) ※欠席</p> <p>橋本篤哉委員 (六ヶ所村教育委員会 教育長職務代理者) ※欠席</p> <p>齋藤英明委員 (公募)</p> <p>秋元美穂委員 (公募) ※欠席</p> <p>竹内大二委員 (公益財団法人 環境科学技術研究所 理事)</p> <p>林巧委員 (国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子エネルギー部門 六ヶ所研究所 ブランケット研究開発部長)</p> <p>石坂直人委員 (新むつ小川原株式会社取締役常務執行役員 青森本部長)</p> <p>相澤文雄委員 (日本原燃株式会社地域・広報本部 副本部長) ※欠席</p>	
	事務局	<p>六ヶ所村役場 総務課 種市課長</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 高村課長補佐</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 林下GM</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 佐々木主幹</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 浅野主事</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 梅村主事</p>
	事務局支援	建設技術研究所東京本社都市部 PFI・PPP 室 川井、猪股、石井

1. 配布資料

- 資料1 新庁舎の導入機能（案）について
- 資料2 新庁舎の規模（案）について
- 参考資料1 六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）の構成について
- 参考資料2 新庁舎建設検討フロー
- 参考資料3 環境にやさしい庁舎について
- 参考資料4 新庁舎整備に伴う公共・民間施設等の複合化について
- 参考資料5 第10回六ヶ所村新庁舎建設検討委員会議事録

2. 審議内容

開会

- 事務局より、開会の挨拶を行った。

委嘱状交付

- 委嘱状の交付、委員紹介を行った。

委員長あいさつ

- 委員長より、挨拶を行った。

事務局より資料の確認

- 事務局より、配布資料の確認を行った。

3. 案件

(1) 新庁舎の導入機能（案）について

- 事務局より、「参考資料5 第10回六ヶ所村新庁舎建設検討委員会議事録」について説明。
- 事務局より、「参考資料1 六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）の構成について」について説明。
- 事務局より、「参考資料2 新庁舎建設検討フロー」について説明。
- 事務局より、「資料1 新庁舎の導入機能（案）」について説明。
- 事務局より、「参考資料3 環境にやさしい庁舎について」について説明。
- 事務局より、「参考資料4 新庁舎整備に伴う公共・民間施設等の複合化について」について説明。
- 【委員】9月議会で一般質問があったが、消防署を複合施設として導入する想定はないのか。
- →【事務局】消防署については、当初村長からの諮問として出ていたが、都市計画の考えから複合化が難しいという結論となった。移転については別途検討する。
- 【委員】候補地の都市計画にかかる調整の進捗について状況はどうなっている。
- →【事務局】候補地は市街化調整区域にあり、手続きに3年程度の余裕を見ていた。区画整理事業による特定保留の解除、特定保留を取り下げた上での地区計画の設定、特定保留をそのままとした地区計画の設定の3案があり、県との協議を進めているものの具体的な進捗はないが、津波防災拠点の移設として具体検討を行っていく予定。
- 【委員】警察署については新庁舎にどの程度面積を確保しているか。
- →【事務局】構想段階では可能性の一つとして組み込んでいたが、検討を進める中で複合化が難しいと判断し、基本計画から除外した。

- 【委員】資料1 P.8 に記載のある「できる限り柱や壁を少なくした開放的」な執務スペースは、構造等と相反するのではないか。
- → 【事務局】全ての機能を実現することは難しいと考えている。耐震構造の種類を説明したが、機能ごとに適した種類があると考え。設計の段階で専門的な検討を行うことになる。
- 【委員】資料1 P.10 食堂は臭いなどの問題があり、庁舎内での設置は難しいのではないか。
- → 【事務局】設計段階で検討できる課題だと考えている。青森県庁など事例ある。
- 【委員長】基本計画で上げている内容は全て実現できるわけではないという認識は重要。検討の中で、メリット、デメリットを整理したほうが良い。
- 【委員長】フリーアドレスを実現している自治体はあるのか。
- → 【CTI】一部来客の少ない機能をフリーアドレス化している事例は少数だがある。成功しているかどうかは、まだわからない部分が多い。
- 【委員】中央公民館のうち必要機能とは何があるか。
- → 【事務局】設計段階で具体的に整理したいと考えている。ホールや和室等の室があるが、全てではなく一部の機能の複合化を考えている。女川町では、ホールを複合施設としており、可動席を導入している。可変的に使用できるものであり、これは導入したいと考えている。また、現在中央公民館に入居している課は複合化させるが、その他機能は設計段階での検討と考える。
- → 【委員】公民館に入っている執務機能については、新庁舎に組み込むことで良いか。
- → 【事務局】見込んでいる。
- 【委員】Nearly ZEB の導入について。ぜひ進めていただきたいが、村長や議会に対してコストについての比較検討資料の準備をお願いする。
- → 【事務局】基本計画の中では難しいのではないかと考えている。基本設計段階で提示することになる。気候特性に応じた検討を行っていく予定。
- 【委員】バリアフリー化については、高齢者対応として重要なので、十分に検討してほしい。
- → 【事務局】既存庁舎のバリアフリー対応が期待に添えていない部分があり、新庁舎建設の目的の一つに掲げている。十分検討を行い、新庁舎では実現されるものとする。
- 【委員長】ユニバーサルデザインはバリアフリーを包含した言葉なので、そちらを主体的に使っていく方が良い。
- 【委員】ICT 活用の電気錠、予約システムとはどういったことができるのか。
- → 【CTI】電気錠はカードキーによって開錠できる扉、予約システムはそれを用いた予約システムで、会議室を利用する
- 【委員長】自動化にフォーカスしすぎると、使いにくくなる事例もあるので注意して検討すること。
- 【委員】現庁舎の廊下は狭いが、新庁舎では廊下は広がるのか。
- → 【事務局】ゆったりとスペースを確保した新庁舎を目指しているため、その点には注意して計画を進めていく。
- 【委員長】小藤委員に聞きたいが、WELL 認証について、位置づけを解説いただきたい。
- → 【委員】さらに高い基準を求められるということか。
- → 【CTI】省エネ、創エネ以外に、執務環境の快適性、空気や水の清潔度、緑視率等、多面的な指標が追加となるので、さらに高い基準を求められることになる。
- 【委員】建設コストについて、現庁舎でもエスコ事業での改修工事なども実施してコストを抑えた実現方法もあるので、ZEB を採用するとすると、補助金や面積・人材での工夫を含めて、ローコスト化できる手法も検討すること。
- → 【事務局】50 億の基金を新庁舎建設費に充てる予定だったが、昨今のコスト上昇等も含めて上昇傾向である。環境省の補助金などもあるので、新技術の採用内容なども含めて検討していく。

- 【委員】環境にやさしい庁舎として、どのような技術を採用する予定か。雪室を採用する場合、どのくらいの面積を想定しているのか。
- → 【事務局】ここで提示しているのは、採用検討する項目なので具体的な規模は出していない。雪国特有の ZEB を達成するための技術だととらえていただければ。

(2) 新庁舎の規模について

- 事務局より、「資料2 新庁舎の規模 (案)」について説明。
- 田委員】職員の駐車スペースはこの程度必要なのか。15 m²程度あれば十分では。
- → 【事務局】職員の駐車マスのサイズは 12.5 m²としている。車路などを含めた面積として駐車場面積の算出基準として設定している。
- → 【委員長】駐車場面積がわかりやすいようイメージ図等があると良い。次回検討委員会までに対応いただきたい。
- 【委員】現庁舎では、公用車駐車場は役場の前に停めているので議会開催月は来庁者が利用できないといった問題が発生している。公用車駐車場は裏に回して分離したほうが良い。
- → 【事務局】現在は、議会開催中は北側の駐車場を利用いただいているのが現状。役場の現場対応の多い課、緊急対応の必要な課の利用を想定して一部表に配置している。新庁舎では、いただいた意見も配慮して設定する。
- → 【委員長】運用ルールの問題だが、住民優先としていただきたい。
- 【委員】将来を見越して、電気自動車、水素自動車に対応できる充電スペース等も検討すること。
- → 【事務局】設計段階で採用できるか可能性を検討する。
- 【委員】高齢者のドライバーも増えているので、そういった方々に配慮した駐車スペースの確保も検討すること。
- 【委員】職員の増加については、今後の変化に対応できるものになっているのか。住民の数などと対応しているのか。
- → 【事務局】デジタル化による人員削減が目標となる一方、行政の多様化による業務量の増加などの状況も想定されるため、大きな変動はないものと考えている。
- → 【委員】現段階での積算で問題ないと思うが、将来の変化に対応できるよう整理してほしい。ICT化は業務効率化につながると思うが、高齢化対応などを踏まえた住民サービス向上に資するものとして検討してほしい。

その他・閉会

- 【委員】敷地面積の件、複合機能の検討を進めるためにも都市計画の手続きの見通しを明らかにする必要がある。地区計画案を作っていく上ではそれができるコンサルタントを入れて進めていく必要がある。設計までにはそれを実現する想定でスケジュールを立てること。
- → 【事務局】その通りだと考えている。基本計画の策定段階では難しいと考えているが、動きがあれば、都度共有していく。
- 閉会

以上